

課題名：県内ブドウ主要品種における S-ABA 処理の適用性の検討（令 6～7）

内容：黒・赤系品種では、夏季の高温等の影響による着色不良が問題となっています。着色の程度は等級への影響が大きいいため、生産現場からは対策技術の開発が求められています。着色促進効果のある新規植調剤の S-ABA 液剤は、適用品種が「ピオーネ」と「巨峰」に限定されており、今後「オーロラブラック」などの巨峰系 4 倍体品種に対しても適用の拡大が必要です。そこで、県内で主要な巨峰系 4 倍体品種に対する、S-ABA 処理の適用性を明らかにします。



S-ABA処理が「ピオーネ」の着色に及ぼす影響

S-ABAの散布液量が「ピオーネ」の果実品質に及ぼす影響

処理区	果房重 (g)	果皮色 (C.C.)	果粒重 (g)	糖度 (° Brix)	酸含量 (g/100ml)	汚れ <sup>z</sup> (程度)	溶脱 <sup>z</sup> (程度)
10ml	688	7.5 a	20.2	17.7 b	0.48	1.9 a	3.1 a
5ml	660	7.0 b	19.4	18.3 a	0.49	0.2 b	2.7 b
2ml	691	6.6 bc	20.1	18.0 ab	0.50	0.1 b	2.6 b
無処理	686	6.3 c	19.8	17.9 ab	0.51	0.2 b	2.2 b
有意性 <sup>y</sup>	ns	*	ns	*	-	**	*

<sup>z</sup> 6段階評価 0：無、1：微、2：少、3：中、4：多、5：甚

(4以上で商品性の低下がみられる)

<sup>y</sup> 汚れ及び溶脱の程度はSteel-Dwass法、その他はTukey-Kramer法により、\*\*は1%水準

\*は5%水準で同列内の異符号間に有意差あり、nsは有意差なし、-は未検定を示す

[果樹研究室HPへ](#)

[農業研究所HPへ](#)